

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
0662	虫卵塗抹 1B010-0000-015-701-11	糞便 1g	10	冷蔵	1~2	20 尿糞	直接塗抹法	認めず		寄生虫症
0663	虫卵(集卵法) 1B015-0000-015-701-11			冷蔵		15 尿糞	集卵法	認めず		
0664	蟯虫卵 1B025-0000-015-735-11	セロファン膜使用		室温		20 尿糞	セロファン法	認めず		蟯虫症
0674	便虫体検出 1B020-0000-015-701-11	糞便1g	10	冷蔵		23 尿糞	鏡検法	認めず		
5380	便Hb・Tf(定性) 1B042-0000-015-195-11	糞便1g	9	冷蔵	2~4	56 尿糞	金コロイド比色法	(-)	専用容器 (採便容器) に採取し 冷蔵保存	大腸癌 直腸癌 大腸ポリープ
4815	便Hb・Tf(定量) 1B042-0000-015-195-01	糞便1g	9	冷蔵	2~4	56 尿糞	金コロイド比色法	Hb測定値 100未満 Tf測定値 50未満		
0668	便ヘモグロビン(定性) 1B040-0000-015-195-11	糞便1g	9	冷蔵	1~2	37 尿糞	金コロイド比色法	(-)		
2536	便ヘモグロビン(定量) 1B040-0000-015-195-01	糞便1g	9	冷蔵		41 尿糞	金コロイド比色法	100未満		
2167	アデノウイルス抗原 5F150-1410-015-190-11	糞便1g	10	冷蔵	2~3	60 ① 免疫	イムノクロマト法	(-)		乳児冬季下痢症
3039	ロタウイルス抗原 5F610-1410-015-190-11	糞便1g	10	冷蔵	2~3	65 ① 免疫	イムノクロマト法	(-)		ロタウイルス性胃腸炎 ロタウイルス性下痢症
5184	便CD抗原・トキシン 5E110-0000-015-190-11	糞便1g	10	冷蔵	1~2	80 免疫	イムノクロマトグラフ法	抗原 : (-) トキシンA/B : (-)		C.difficile関連下痢症 偽膜性大腸炎
4858	ノロウイルスRNA 5F630-1410-015-851-11	糞便2~3g (小指の先程度)	10	凍結	3~5		RT-PCR法	陰性		感染性胃腸炎

①アデノウイルス抗原定性(糞便)とロタウイルス抗原定性(糞便)又は定量(糞便)を同時に行った場合は、主たる検査のみ算定する。

[5184 便CD抗原・トキシン 測定結果の判定]

抗原	トキシンA/B	解 説
(+)	(+)	C.difficileのトキシン産生株の存在を示す
(-)	(-)	C.difficile感染症は否定的
(+)	(-)	トキシン非産生株、もしくは低感度による偽陰性、両方の可能性を考慮する。 C.difficileの存在は確実なので、培養を実施し、培養コロニーを用いて、 トキシン産生能を確認することが勧められている。

便の正しい採り方(2日法)

- ①容器の液は捨てないで下さい。
- ②1本の採便容器に二回分採らないで下さい。
- ③人体に直接使用しないで下さい。(採便以外の目的で使用不可)
- ④生理中は採便を避けて下さい。
- ⑤子供の手の届かない所に保管して下さい。

